

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 89

事業名	青少年育成団体への活動支援		
担当課・室・班名	生涯学習課 社会教育振興室	問合せ先(電話番号)	4072

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	補助金の交付 社会教育団体の求めに応じての指導・助言 団体へのヒアリングの実施					
当初予算額(千円)	25年度	883	26年度	795	27年度	715
決算額(千円)	25年度	883	26年度	795	27年度	
財源内訳	県単(○)	一般財源	県単(○)	一般財源	県単(○)	一般財源
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

日本ボーイスカウト千葉県連盟、(一社)ガールスカウト千葉県連盟、(一社)千葉県子ども会育成連合会、日本海洋少年団千葉県連盟、千葉県連合婦人会、千葉県高等学校PTA連合会、千葉県特別支援学校PTA連絡協議会、千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会、千葉県ユネスコ協会連絡協議会の9団体に対し、補助金を交付した。
またヒアリングにより、各団体の活動状況や課題の把握に努め、必要に応じ助言した。

(2)事業の成果

少子化や価値観の多様化等により会員は減少し、それに伴い予算減になる団体が多いため、補助金の意義は大きく、各団体の活動事業を維持・発展させることにつながった。各団体が広報活動に重点を置いたことにより、活動内容を広く県民に広報すると同時に、会員同士で活動内容について共通理解を図り、意欲の向上につながり、その結果組織作りにつなげることができた。
ヒアリングでは、各団体の課題を把握できた。また、本事業に係る団体の事業計画を、代表者と共に見直すことで、団体の事務処理負担の軽減を図れた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

各団体の活動のさらなる活性化のため、より団体との連絡を密にし、状況を把握し、助言に努める。
団体の会員減少は、同時に活動推進役や、次代を育てる指導者の不足という問題を抱えている。それでも各団体は、限られた予算で、いかに活動を充実させるか腐心し、工夫をしている。県予算縮減は、各団体の活動の後退を招き、より良い地域・社会づくりに反映されない。補助金交付である本事業は、予算確保が課題である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 90

事業名	千葉県地域コミュニティ活性化支援事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	希薄化した地域コミュニティの再生や新たな地域コミュニティの仕組みづくりを行う取組に対して支援を行い、併せて、その取組を広く県民に発信することにより、地域コミュニティの活性化を図る。					
当初予算額(千円)	25年度	5,545	26年度	5,545	27年度	事業廃止
決算額(千円)	25年度	4,095	26年度	4,716	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○			

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

9事業の応募があり、審査の結果、5事業が採択された。
採択された事業は、平成26年7月～平成27年1月までの期間で事業を実施した。
10月に「中間報告会」を開催し、事業終了後の3月には一般公開で「成果報告会」を開催した。

(2) 事業の成果

本事業を通して、多様な主体が連携・協働して地域づくりを行う手法が、さらに県内に広がった。
各地域での取組における成果を一律に評価することは、テーマや方法が地域によって違うことや、事業自体の趣旨としてプロセスを重視することから難しい。
しかし、今まで関わりのなかった団体や住民を巻き込んで取り組むことで、地域での課題共有・地域資源の発見や活用が進み、住民主体による地域づくりが進展している。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

地域の多様な主体が協働で取り組む課題解決や地域コミュニティの活性化の仕組みを広く普及させることが重要である。
県内各地域で協働による取組が進むよう、「地域コミュニティ活性化支援事業」で支援した取組を活かし、その事業成果や手法を広報していくとともに、それらの事業が発展しながら継続できるよう、事業後も様々な情報提供を行うなどフォローが必要である。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 91

事業名	学校とNPOとの連携促進事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 県民活動推進班	問合せ先(電話番号)	4133

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方針	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	県総合教育センター主催の教職員研修においてNPOの基礎や連携事例、地域のNPOの紹介などを行うNPO講座を実施する。 また、NPO向けには、学校教育の現状や連携するためのポイントなどの説明や、学校と連携するための企画案の作成に関する講座を開催する。					
当初予算額(千円)	25年度	241	26年度	49	27年度	54
決算額(千円)	25年度	161	26年度	24	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

NPOやその連携についての理解を深めてもらうため、平成26年8月25日(月)に千葉県総合教育センターにおける教職員研修のプログラムの一環として、NPO講座を開催し、県立学校等新任教務主任44名が参加した。

(2) 事業の成果

教職員研修におけるNPO講座後のアンケートでは、全体の95.2%がNPOについて理解が深まったと答え、実際に授業や課外活動等でのNPOとの連携については、31.0%が既にしている、64.2%がしてみたいと答えた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

教育委員会と連携し、公立小中学校の教員を対象とした講座を実施できるよう検討します。また、受講の成果が具体的な連携、協力につながる仕組みづくりが必要。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 92

事業名	千葉県青少年協会助成事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方針	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	青少年育成県民運動の推進母体である公益財団法人千葉県青少年協会が、青少年の健全育成を目的として実施する事業に対して補助する。					
当初予算額(千円)	25年度	40,329	26年度	40,597	27年度	40,597
決算額(千円)	25年度	40,329	26年度	40,597	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

公益財団法人千葉県青少年協会が実施する青少年育成千葉県民会議事業(「私の思い～中学生の主張」、青少年サポーター活動等)に対する支援を行った。

(2) 事業の成果

・「私の思い～中学生の主張」では、県下48校、2,798人から選ばれた中学生(13人)が命の大切さや人への思いやりについて熱く語り、参加者の心を打った。千葉県代表者は、国立青少年教育振興機構努力賞を受賞した。
 ・青少年サポーター活動では、大学生をサポーターとして活用し、理科学習など体験講座を企画・実施した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

「青少年サポーター活動の組織化・事業推進」等により、青少年育成活動の担い手を支援していくとともに、「私の思い～中学生の主張」等による広報・啓発事業をより積極的に実施し、青少年の参加・参画を促す事業の展開に取り組んでいく。また、青少年育成市町村民会議の全市町村設置に向けて設置促進に取り組んでいく。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 93

事業名	青少年相談員設置事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	地域の青少年健全育成のリーダー的存在として、青少年健全育成活動、非行防止、安全防止活動等多岐にわたる活動を行っている青少年相談員の活動の充実及び資質や意欲の向上を図る。					
当初予算額(千円)	25年度	23,527	26年度	24,262	27年度	25,996
決算額(千円)	25年度	22,358	26年度	23,620	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年相談員の資質及び活動の向上を図る「課題研修会」を県内11カ所で開催(823人参加)し、さらに、青少年相談員と子どもたちがスポーツ活動やキャンプ等を行う「つどい大会」(3地区894人参加)の活動を支援した。 ・千葉県青少年相談員制度が発足から50周年を迎えたことから、県内の青少年相談員及び関係者が一堂に会し「千葉県青少年相談員50周年記念大会」(約1,200人参加)を開催した。 ・青少年相談員が主体となり、県下全市町村の子どもたちを集め、交流しながら多様な体験・経験を通して子どもの健全育成に資することを目的として開催した記念イベント「千葉県青少年相談員50周年レッツ ダンス イン ちば 2015」(約1,250人参加)の活動を支援した。

(2) 事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県青少年相談員連絡協議会を開催することにより、青少年相談員の活動方針の決定や各地区間の情報交換及び連絡調整を図ることができた。 ・県内11地区において課題研修会を開催することにより、相談員の資質向上が図られるとともに、青少年相談員としての活動を行う上での課題意識の向上につながった。また、「千葉県青少年相談員50周年記念大会」を開催することにより、千葉県下全域の青少年相談員の資質の向上及び相互の連携・交流を深めることができた。 ・「千葉県青少年相談員50周年レッツ ダンス イン ちば 2015」を開催したことにより、県下全域の子どもたちが親睦を深めることができた。また、活動を通じて、県下全市町村の相談員同士の交流が深まり、互いに助言し合い、活動を見直すなど、相談員活動に対する資質の向上をみることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年相談員の資質の向上と充実した活動のため、各地区に即した課題についての取組を実施し、青少年相談員の活動を広く知ってもらうため、より一層の周知を図る必要がある。 ・青少年相談員活動への意欲向上や自覚を促す各地区の実態に即した課題についての「課題研修」、情報交換や講演等を通して資質の向上や相互の連携を深める「全体会」を開催する。

4 委員意見

Empty box for committee comments

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 94

事業名	青少年補導センター事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	5 地域社会の連携の強化					
基本方策	10 多様な主体による取組の推進と関係機関の機能強化					
事業内容	青少年の非行を未然に防ぐ直接的な役割を担う、各地域の青少年補導センター及び各補導員活動の充実と活性化のための支援を実施する。					
当初予算額(千円)	25年度	4,844	26年度	4,788	27年度	4,851
決算額(千円)	25年度	4,822	26年度	4,696	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導員活動費補助 ・社会環境整備活動事業補助 ・青少年補導(委)員大会の開催及び補導(委)員大会における永年従事の補導員の表彰実施 ・21市町における県下一斉合同パトロール(青少年への声かけ、啓発グッズの配布)の実施

(2) 事業の成果

<p>・「青少年補導員活動費」及び「青少年補導センター事業費のうち社会環境整備活動事業費」を補助することにより、青少年補導員活動の充実と活性化を促進した。その結果、補導活動を年間で8,394回実施し、延べ4,632名の青少年を補導することができた。</p> <p>・青少年補導(委)員大会の開催により、青少年補導員の資質を向上させるとともに、県内青少年補導員相互の連帯感を高めることができた。また、永年にわたり補導員として活動した者に対し表彰を行う(表彰状授与10名、感謝状授与29名)ことにより、青少年補導員の青少年健全育成及び非行防止活動への意識を高めることができた。</p> <p>・青少年補導センター設置市19市の他、県内の2町を合わせた21市町において、特定日(8月1日及び2日)に一斉に青少年非行防止活動を行い、啓発グッズを配布することにより、青少年の非行の早期発見及び補導を推進するとともに、県民に対し青少年補導活動の理解を広めることができた。</p>

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

引き続き補助を行い、青少年補導センター及び各補導員活動の充実と活性化を促進する。
--

4 委員意見

--